

バストス週報

第九十五号
登録名義人 森幸一
発行所 バストス自治会

購読料
年 六〇ルセロ
外埠 七〇ルセロ
廣吉阪坂人 落堂作一
編輯 坂本 高田商店 夫田
印刷 西通報社

バストス産業組合

第十八回通常総会を覗く

去る十一月廿七日産組總會開催の導があつたので、おかけて見た。午前十時には出席名簿に六名署名があり十一時には出席人員の數に關係なく開會される事になつて居るのだが、七十五名で正午開會されたのは、その昔産組聲かなりし頃文字通り堂に溢れんばかりの組員の總會の觀ありし頃に較べて、淋しい感に打たれた。どうして、かくも出席率が悪いのか？ 勿論組合員數も往時に比して三分の一にも激減して居るであらうが、最も大きな理由は、總會に対する関心が薄れてゐること。つまり不熱心な人が多いためであらうか。もう一つ、總會開催の通知が充分に行き渡つて居ないのではないかと思ふ。十一月廿五日に評議員会が開かれ決算報告の提示等があつて右に長日總會通知配布と依頼されて居るので期日迄に中二日しかない為めに或は通知遅延のうらみと、さうもなへる、何人某つても果したくいで總會が出来る仕組みになつて居るが、なる可く半數以上果つてほしいものである。その為めに組合當業者は事前にその心構えが必要である。すんだ事は仕方がないが、新しく選出された役員諸氏によつて構成されるシレトリアは、將來さういふ方面のことも考慮して欲しいものである。

役員をシヤワバによつて定め、少數組合員のみによる選挙をなしたところで、その結果は、ほぼ定つた形になるので、爰に専横の聲が起るのであらう。故に總會に多くの出席員を招くことは是非努める可きことと思ふ。

議事も変化に乏しく、すくなく運びすぎて、あつてない位であつたが、波乱なく通過するよりは、先づ結構なことだ。綿棉工場の大損害を喰ひとめたことや、棉買付金未回収の件々、十三年前の仲々面白、總會劇が見られるところだが、今は棉作者も少いせいゝが氣勢があがらなかつた。役員選挙の結果左の人々が改選された。

組合長 石橋長児、専務理事 中島善治
常務 吉浦秀次郎、理事 池田広進、
池戸信次郎、大野英雄、味野謹子、村上
善太の諸氏、監事 霜出祥二、佐藤金
作、吉田千三吉の諸氏、次点 小野村崎
清永の諸氏、
(文責・〇三)

迷子のユーピンヤー！

受取人 差出人
？ 末吉様 神戸 坂口龍一
早川忠藏様 静岡 山下
山口果人各様 山口果海外移住組合
おんたや軍しい引取り下さい
篠崎 マツ村 新津 ジョーチ
鈴木 アロイジオ 鈴木
吉原 キクヨ 下田 キクエ
塚本安次郎 小笠原商店
中心當りの方は至急おいで下さい
植木 商店



もうすぐナタールですよ

ベスチードの御用意は？

プレゼントに冷度よい

布地が沢山ございます

そしてお値段も

びっくりする程安く……

市立れなく皆さまの

カーザス

パルナンブカーナス

ハ、市でかけ下さい

FAZENDAS
CASAS PERNAMBUCANAS
FILIAES EM TOD O BRASIL

バススト昔話対談 (三)

(よみもの八月号より 糸音と紀南子)

紀南子、そう、梅谷貞光のこと一つたりみま
糸音、ア、柘最初の手務梅谷さんがバスストへ
来たのは州松三年目の九月ときいてゐるが現地の
荒くれ共に言はせると畑中では埒があかんで
梅谷を叫びよせたんだね。

「梅谷来る」の檄がとんで鬱憤組が大挙して
ワツとばかり押しよせた光景は思いこんだつた
しい、旧産但重務所辺一帯に収容所が敷
棟建て居たが、その一室に梅谷を押しこめて
喧嘩問答の末、梅谷を殺せしと掴みかゝる有
様だった、さすがの梅谷もほうくの態で逃げ
帰ってしまった、同氏は帯白二年の内一度バス
トスを視察したときで余程こりた見え帰朝
後は岸をかへて満州方面に活躍し大戦中
病没されたように聞いてゐる、梅谷さんの未婚の
頃は中央区の外にA区(カコリ区)B区(カコレ
区)C区(カスカ区)の一部が伐採されたのさ
オナチヤアソの足跡も珍らしくなつた、A区
ラゴアでは時々狩野が行はれるなど殺伐を
空気が立ちこめてゐた、だが、俺達と騙してニ
んヤソに移住させた、ふ途方もない同連達とい
かりに燃えた連中と濃厚な梅谷氏では押え
かたつたかも知れないね。

紀南子、それからどうなりました。
糸音、次日幾別春、宮坂國人と、梅谷
とちがつて小奥だが「荒くれ」と取って押へんとす
る氣遣は火したものでした。

四十代の男盛りで南洋で植民事業をやつた経
験もあり、自信たふりで乗りこんで来た、各県
の、といつても、その時和歌山、愛媛、鹿児島
などだったが移住組合選抜の猛者が、例の如
くスクラムを組んで殺倒し、宮坂だうが神坂だ
らうが、さかさまに、さかさまに、さかさまに、と
ころが意見の結果は、あべべに宮坂新専
務に悉くなめられ、さかさまの荒くれも
あつたらんと鎮撫された、その時、今の工田
工場の一部に、この板屋根の一室で意見
が行はれた後、院外団がぐらりと外と入り
まき、焚火を一つ、交渉いかにと氣勢をあげ仲
々物言ひをのたつた、その時宮坂は、君たちの
よ、うに暴言を用いるな、僕は相手にならんと
超然と構えた、その代り、話せば解る人、土地
代十年々賦は、其時宮坂さんが諸君に贈つた

お土産であつた相合、十年では長すぎると思
え言はなかつた、意表に出た形だね。
紀南子、なるほど、それから？
糸音、バススト入植三十年祭の時吾々が幾別春
を白金に迎へたことがあるだらう、大野の鯉池
でシラスコをやつた時、そのかみの荒武者霜出
が宮坂さんの肩をたたいて、お前も忝れたらと
やった、宮坂さんは當時のこととふと思ひ浮べた
を表情で微笑した、何で、さかさまのスナツのよう
なことが両雄の心緒結ばれ、糸の如しだ、宮
坂さんといつて、四移住地の何れに甲乙はな、けれ
ば、バスストが一主義でバスストを消滅させれば
らん、彼等も宜得通りと、實現せぬは、らん、
バスストを完成することによつて(次頁へ)

死亡御通知 土會葬御礼

夫、千太郎 儀去る十月廿七日午後九時急病
にて逝去致し、廿八日バススト墓地に土葬致し、
した此段生前厚知各位に御通知申上ります、
追々葬儀当日は、安んずる力、御遠路、御
會葬下され、其上過分な、お花輪等、御
贈興を賜はり、難有く御喪中申上ります、困
難に給れ、御尊名、御成有之可成、存じ、爰に
然上り、以て御礼申上ります、
十一月三十日

- | | | |
|----|------|-------|
| 表主 | 太郎 田 | スズ |
| 長男 | 太郎 田 | 益 |
| 妻 | | 美津 尚 |
| 次男 | 太郎 田 | 美 登 里 |
| 妻 | | 利 |
| 三男 | 太郎 田 | |
| 妻 | | 道 子 |
| 長女 | 西 原 | 義 一 |
| 夫 | | 文 男 |
| 次女 | 松 本 | 久 雄 |
| 夫 | | 芳 枝 |
| 三女 | 西 谷 | 政 夫 |
| 夫 | | 秀 雄 |
| 親戚 | 神 野 | 書 信 |
| | 西 谷 | 道 信 |
| | 西 谷 | 壽 信 |
| | 師 富 | 初 枝 |
| | 松 本 | 卓 郎 |
| | 戸 次 | 和 西 郎 |

棉の害虫

コナラ産出校所 清永正二

聖州棉作地帯で発生する害虫について
イ、アルゴン

俗稱 アスラムシは棉作地は殆んど全般にその発生を見らるもので棉の幼若期から樹液を吸出し最も生育を衰弱せしめるもので種々の体色をして居り、淡黄色、緑色、濃緑色、強ど黒色のもある、その発生被害は甚大である、チオオススアットの殺虫力が最も適当で有効、D、D-T 及 カン左ナク、ロラドは効力が極めて弱いのでこの害虫には適当でない

ロ、スリッパス

極く小さい一〇乃至一五ミリメートル程の体長の害虫で眼肉では見分けがたい程である、アアラ虫のように種々の体色をして居る、概して老成すると褐色乃至暗褐色となる、幼小な棉の芽を害し成長した棉では花蕾、幼果を害し落葉落果に至らしめることあり、小さいが大害とする、殺虫剤ではチオオススアット、イソメロ、ガマが最良適である、

ハ、フロウカドカワレ

暗褐色のベソウリンニヨで雌虫は棉の成育三四日になると地際部の茎に産卵する、孵化した幼虫は茎に侵入し皮下を食害して衰弱蒼潤させ青枯の如く見ゆる、遂に枯死させるもので棉畑の株叩止はこの為めにも多し、○駆除には産卵時期、孵化期に葉殺散粉を撒き行ふ、ペラチオン、カンフエ、クワラド、イソメロ、ガマが有効、エミヒ、D、D-T は効果がない(つく)

(前頁よりつづく) アラ拓の大半の使命は是れ他は必ず軌道にあるという竹節書を立てて一生懸命だった。その苦闘の地に二十年前お互いに私利をはなれて戦った者同志の感慨こそは知る人を知る複雑な気持ちでもあったであらう、それともう一つは畑中さんの考へ方だ、直来はか

目下盛業中の

食堂

家事の都合にて至急譲り度し

東野福壽

リビヤ既自だ、耕地で三年五年と年取を入れたいコト農や石にかじりついで珈琲栽培契約を完了した手堅い連中を、入種させ、彼らの働き振りと技術を直来のわが村に示し、こゝにはスラシル農者の味は解らぬ、いふ考へ方が象示の塔バスター移住地の開発実施に拍車をかけたようだ、鹿見島村を作り、和歌山村を作つてそこに村長を据えなるといふ時代は移住思想を一蹴してしまわぬ限り、ほんとの植民地は出来ぬ、植民も移住もあつたものが、一しに煮てしまふといふ考へ方は蓋し現地側の卓見で正しい考へ方だし、指導も理であつたようだ、つまりアラ拓側の考へ方が在来の連合會思想を制す時したとてよいほうか、(以下次号)

ニヤカラ譲り度し

- 一、面積一アルケール(全部セルカード)
 - 一、養鶏に適す
 - 一、住宅一棟、外に住宅倉庫二使用
- 出来ルもの二棟

家事の都合上格安にて譲り度し、詳細は左記へつたつた下さい

パール 西野

土地賣却



イアクリ町へ二キロ半
バスター所へ七キロ
交通至便の地

面積十八アルケール

内 パスト 十三アルケール
ポワル ニアルケール
(みかん、バナナ、其他数千株)

住宅一棟、倉庫三棟、完備

養豚場一棟、マンケロン時

其他、アロ、カバ、乳牛、犢牛、種牛

踏道具一功、(土地タテテモ可)

本堂細中面談の上

ワクタレツロ四十三

佐野萬太郎

パラナ・テラ・リリーカ

無茶紀行 (二)

浦 惠 樹

火の茶電なり自信のあるといふ YMS 水カとなるが我々並のトウシで折角の相談にも手が出ず、としかく土地を見てからの才と話しを外した。五時事務所を閉め事務員も所長も皆それぐの自家用車で戻ってゆく。豪勢なものである。夕食後の街を歩いて早目に寝る事にする。旅行記を書かうと原稿用紙を置いて見たが全然駄目である。隣室の話し声が筒抜けでは事ごるか寝つかれもしない。灯を消して一寸まどろんだ頃畑中徳さんの車が着いてエリナ夫人の声も聞える。ムクサキを積んで来たのであらうか。此処から畑中さん建設中のセラリアに入る唯一の道順で畑中さん畑の極原、清原、などのバス名が此の道を足溜とこれらと晝間宿の主人から聞いて来たが此のサンパ州の果てでバスと人同宿するとは意外であった。午前十時、ミア急発と跳ね起る。まだ眠ってゐる街を疾走して六時に小島バテルニアに這入った。カミシの女やうふと前を走るとビルジネイロが停つておてウエンセスウウ行きといふ。昨日の極暑、昨夜の睡眠不足、此れから始まる。山道百十余キロの行程を思ふと、このビルジネイロで、ここから引き返したくなつたが、折角ここ迄来たんだからと同行の人達に、なだめられ又車上へ引張られ急坂を上つたり下つたり七時半クヤバ植民地に着く。バスとを去る此処に新天地と云つた上小たのほ、その昔、前原商店を米配を振つた遠藤章亮氏、後で入植者にもバスと人が多いといふことである。此の経営するセリリアを見学、このセリリアの爲めにあるヤウバパテルニア、小学校もあり登校児童が下宿に挨拶して通ふ。引さの遠藤さんの好意を謝して車を目的地へ馳る。クヤバの土地も余り大したことなくバスと並みでありう。山又山に囲まれた新しい道はトコヤ憂が多くて車は徐行しガタ、ストンと膝も頭も痛いこと。やがて畑中さん達の経営するセラリアへ乗り込んた。此処は清原さん、清原さん、岡村さんと皆ハストス人ばかりの村である。すすめられま、に遺食のり馳走になつたが、左ジョン、漬物、ソバの外にポンがあった。何も無くと言はれたが一片のポンにても百三十キロの街迄行かねば手に入らぬ貴重の一汗である。阪東春歩あハバイと居られてバスとスガウ昨日持て来たばかりの

鶏卵きつりの、夕すすめられ大いに感縮した。十メートルばかり下つた小川で手を洗ふと澄んだ水中に小魚が沢山泳いでゐる。極原さんの話では始めは水が黒く見え程沢山居たが逆川は数分少なくなつたとの事。この川べりには蝶が群れとんぶカルナバルの粉紙を撒き、ちうす標に、白黄紅の蝶が吹雪と飛んで、その美しさ全く印象的である。帰途又中邪魔する約束を去り去りたが、ふと小屋の前には植えられた千日紅が一輪、蘭が二三輪、何かしう此の山奥で恋人に逢つた標をほのかるべの温りと覺えたのである。本道へ入ると木立は愈々太く高く、全々の密林で、谷間に、るどゴプの車輪が埋つて、さふ水溜りが、あちこちにある。一度溜りたら乾く事なき水は異常な臭氣を放ち車が引擦さすおすおすおと噴き濁り巻いて百万の病菌と殺菌させるやうな感がある。十一時半や、此の難所をぬけ密林の盡きた所にリオ、パラナ、パネマが眼前に現はれバルサは向ふ岸にのながれてわた。濁水をたたえて大河はイリア、ネアンタを流すやうくと、奥畫の天白と流れかへしつ、流れてゐる。河岸に天張が一ツ、カサを樂しむ五人の新主沢の白人が銃の手入れしたり、大の世話をしたたりしてゐた。(つづく)

故賜山甚作氏墓碑建立

決算報告書

収入之部

- 一金五拾ニルセルセロ
- 一金五拾ニルセルセロ
- 支出之部

- 墓碑代 一、五九一、〇〇
- 敷地及手續料 一、五〇〇、〇〇
- 基礎工事費 七六三四、〇〇
- 陰幕式費用 一、二〇〇、〇〇
- 祀献忠(額頭代) 六六〇、〇〇
- 寫真代 六八二、〇〇
- 雜費 一、〇四八、六〇
- 新聞広告代並公計報 三〇、四四五、〇〇

差引残額 全貳拾ニルセルセル

右ノ通り會計報告候也 追而奇時芳名録訂刷出来次第各位へ御届致し可し予承知不度候 昭和六年十一月廿九日

建碑委員長 石橋長 見
副委員長 味野謹 子
會計 齋出静 子
落電作 一

御通知

選挙権取得に要せし出世証明二通、結婚証明一通を、石橋幸務所に保管してあります故、申忘れなく至急、取りにおいで下さい。

パンフキン区(9) 寺本一美、貝岐ジュリヤ、佐藤トラエ、各位



ライバン日よけ眼鏡 高級品

その他 新型メガネ各種 入荷

いたしました。

真珠式首かざり、指輪、アリアンサ、オメガ印万年筆、パルケル二十一号印

何れもプロセントに好適

破格の特価で差上げます

高田時計店

太郎田十太郎氏急逝

市内太郎田 街商店蔵父十太郎氏は去月廿七日午後九時腦溢血で急逝された。享年七十三歳である。氏は石川県金沢市出身、昭和二年十二月神奈川丸にて渡伯、バウル市附近の、パルメイラ耕地に入り、一九四二年バストスに移住、爾来トシク拍子に家運隆盛、六人の子を、その中、實在會に活躍、何不自由なき、幸福な生活であった。病臥されし事なく、今回も病の発作あってより僅かの敷時間にて大往生と云われた由、合掌。

日本送金取扱

聖中城島商店代理人として日本への送金の御世話致します。
一 送金する人、受取る人、住所氏名フリカテを付けて下さい。
一 為替換算等の関係にて、時により多少の差額があるは、一セントは、およそ一万一千円相当の差額を、送金は迅速にて、僅々二十日位で日本に到着いたします。
一 金額は何程でも取扱ひます。

カーガニコニア

重道永榮

責任仕立

必ず皆ごまの、市氣に召す

高橋洋服店

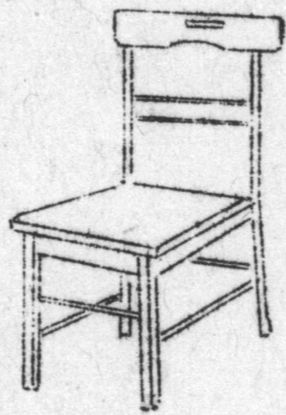
お正月の洋服は一日も早く

御用命下さい

一九五二年の、きれいなホリニアを差上げます。皆さんにおいで下さい。

福森のカメラと

カーマ



アクモリ 家具 製作所

型はいろいろあります。おねだんもだんくとあります。

ジゴケノケツトウ

FABRICA de MOVEIS GLORIA

地獄



港町長崎の夜響 哀愁の歌声流るる中に 忽ち起る 銃声は何スリルと口ワンス!

情熱のルッポに 皆々を

引きこんでしまふ 名篇

水島道太郎

鶴田浩二、田端義夫、

片川邦子、野上千鶴子、

菅井一郎、佐伯秀男、

志織克子、山路義人

関

来る十二月

七日、午後八時より 八日、二時と八時(二回)

入場料

大人 十クルゼイロ 小供 五クルゼイロ

シネパンティランテ